

相生山の10年

10年間の施工ワーキングの中で、様々な調査を行ってきました。その一部を紹介します。相生山の生きものの変化を見てみましょう。

コドラート調査

毎年5月にコドラート調査を行っています。同じ場所に一边が1mの調査区を設置し、経年変化を見ていくものです。下の写真は、道路予定地の南側で、相生山緑地の東の端に設定したコドラートで撮影した写真です。最近の4年間の間に、植物が成長していることが分かります。

観測ポイントH - 南

2008年5月21日

2010年5月13日

2012年5月17日



定点写真調査

毎年5月に、「森ぎわ」、「道ぎわ」の同じ場所から360°写真撮影をし、写真をつなげて見ることで、経年変化を見ていきます。下の写真は、いのちの谷付近の森ぎわを撮影したものです。緑の量が増えてきています。

観測ポイントF - 南

2008年5月21日

4年

2012年5月17日



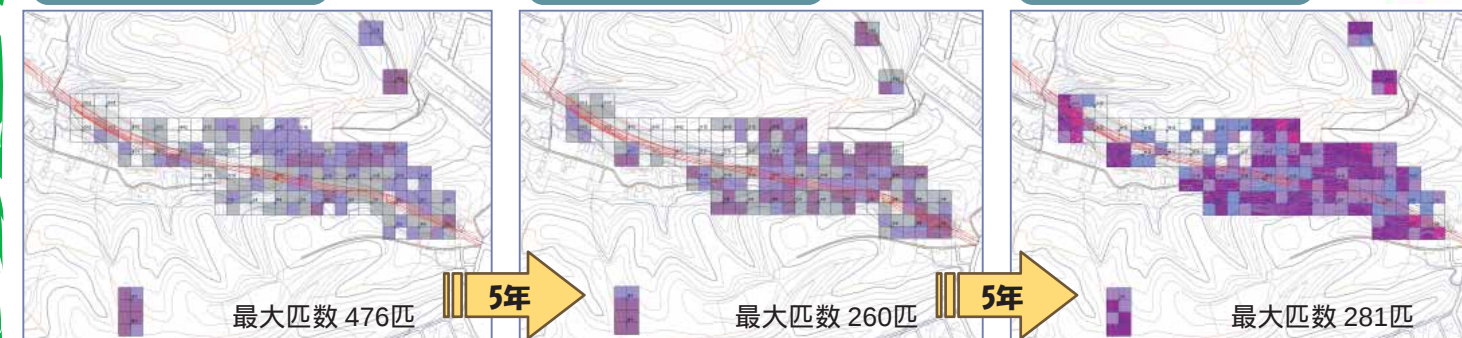
ヒメボタル調査

工事が始まった後も継続してヒメボタルが出現しています。植生回復に関する活動を進めていく中で、昨年2011年は非常に多くのヒメボタルが出現しました。また、シェルター構造上部でも毎年ホタルが観測されるようになりました。

2002年観測日数

2007年観測日数

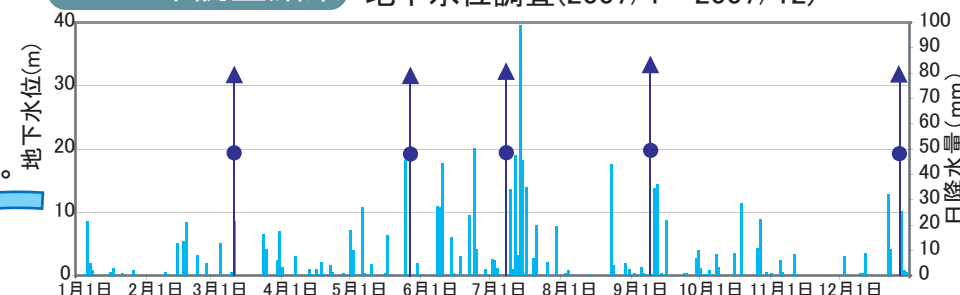
2012年観測日数



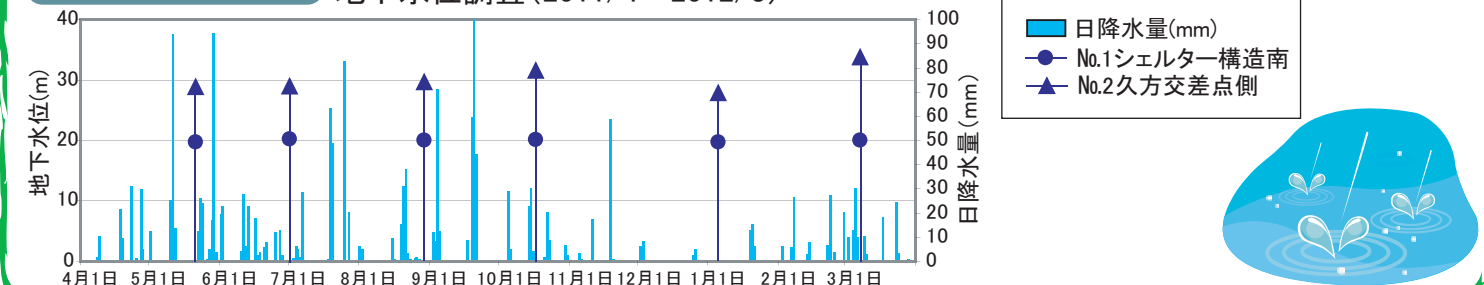
地下水位調査

平成17年5月から、道ぎわ2か所の地下水位調査を行っています。2か所の観測ポイントは、ともに大きな変化は見られません。今後も継続して調査を行います。

2007年調査結果 地下水位調査(2007/1~2007/12)



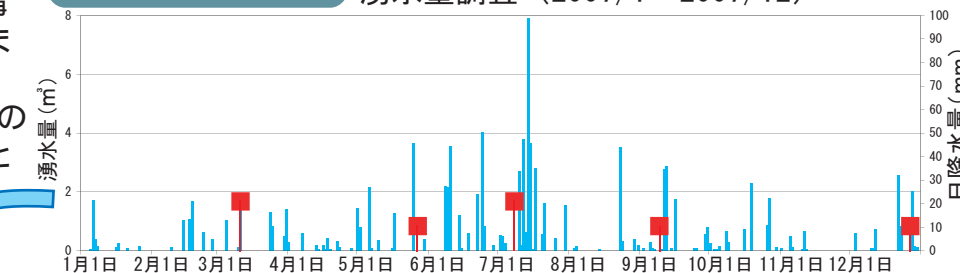
2011年調査結果 地下水位調査(2011/4~2012/3)



湧水量調査

平成17年6月から、シェルター構造付近南側で湧水量を調査しています。ここに示した2007年の結果と2011年の結果を見ると、夏季の湧水量が多くなっています。雨量との関係もあるようです。

2007年調査結果 湧水量調査(2007/1~2007/12)



2011年調査結果 湧水量調査(2011/4~2012/3)

